

平成30年度 新潟市北区文化会館 指定管理文化事業報告書

区分	NO	事業名称	実施日 (公演日)	会場	料金	入場者数	事業内容説明等
鑑賞事業	1	北区ジュニア吹奏楽団 スプリングコンサート	4月15日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席無料 無料	168人	北区ジュニア吹奏楽団、初開催となる春のミニコンサート。約一時間のコンサートであったが、年一回の定期演奏会の他に発表する機会が出来たことで、子どもたちの練習意欲の増進にもつながる演奏会となった。
	2	山宮るり子ハープリサイタル	5月13日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席指定 大人 3,000円 小・中学生 1,500円	248人	昨年度より立ち上げた「稲穂クラシック」シリーズの第3弾として、ハーブ奏者の山宮るり子さんとヴァイオリニストの奥村愛さんによるデュオコンサートを開催した。開催時期の5月に関連するよう、春や田園などを感じる曲目を山宮るり子さんのハーブによって演奏いただいた。
	3	映画「サウンドオブミュージック」	6月16日 (土曜)	新潟市北区文化会館	全席無料 一般 500円	103人	より多くのお客様に気軽にお越しいただきたく、安価なチケット価格で映画上映会を開催した。不朽の名作である「サウンドオブミュージック」を上映することで、老若男女問わず全世代にお越しいただけるよう企画した。
	4	劇団ブーク「エルマーの冒険」 公演＋ワークショップ	7月28日(土曜) 29日(日曜)	新潟市北区文化会館	全席指定 一般 2,000円 3歳～小学生 1,000円 親子ペア 2,800円	523人	「新潟県」と「舞台芸術への県民参加推進プロジェクト実行委員会」とともに主催として実施し、『平成30年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業』として助成を受ける。有名な児童文学を題材にした当公演は親子で楽しめる演劇として、家族でご来場のお客様が大半を占めた。小さなお子さんが多くいたが、主人公が森の中を冒険していく物語に子供達も飽きることなく集中して鑑賞しているのが感じられた。前日には、物語に登場するドラゴンの人形作りワークショップを開催。キャンセル待ちが出るほどの大盛況となった。
	5	門下生ライブ	9月16日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席無料 2,000円	54人	春風亭昇太さんと雷門助六さんの門下生お二人による落語会を行った。昨年度からはじめて2回目となる門下生シリーズは、コアな落語ファンから好評をいただいている。二つ目という階級の門下生をお呼びすることによって、フレッシュかつテレビなどでは鑑賞することができない「門下生シリーズ」ならではの公演を行っている。
	6	稲垣潤一コンサート2018	10月21日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席指定 6,800円	484人	北区周辺のお客様はもちろん、県内外から多くのファンの方から足を運ばいただいた。公演は、稲垣さんの素敵な歌声による名曲達の披露はもちろん、稲垣さんによるソロドラマパフォーマンスも披露。お客さんも皆スタンディングでの鑑賞となり、見ごたえたっぷりのコンサートとなった。
	7	「大谷康子とアンサンブルNORTH」第2回定期演奏会	12月1日 (土曜)	新潟市北区文化会館	全席指定 一般 3,800円 高校生以下 1,500円	273人	北区音楽文化の祭典の第四弾事業。「新潟県」と「舞台芸術への県民参加推進プロジェクト実行委員会」とともに主催として実施し、『平成30年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業』として助成を受ける。新潟県内で初めての会館座付きのプロアンサンブル「アンサンブルNORTH新潟」を結成し、仙台フィル・コンサートマスターの西本さんはじめ新進気鋭の若手アーティストと日本を代表するヴァイオリニスト大谷康子さんによる定期演奏会を今年2回目として開催した。また、稲穂クラシックシリーズの第2弾として北区にクラシック音楽を根付かせるため、メディアなど広報宣伝活動を積極的に行った。
	8	映画「陽のあたる坂道」	1月13日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席無料 一般 500円	121人	映画上映会として映画館へチラシを配布するなど、公演内容に合わせて宣伝を行った。チケット販売は北区周辺としたため、チラシ・ポスターを北区内の公共施設を中心に配布した。また、印刷費削減の為にチラシのみ発注し、ポスターはチラシの拡大版として会館のコピー機で印刷し張り合わせをして作成した。
	9	第9回新春北区落語まつり 春風亭昇太独演会	2月17日 (日曜)	新潟市北区文化会館	一般 3,500円	561人	例年は3月に落語独演会を行っていたが、今年度は2月に新春落語の公演として開催した。少しずつ公演の時期をずらすことでさまざまな季節のネタをお楽しみいただけるよう昇太さんご自身からの希望であった。客演として林家二楽さんの紙切り芸もお楽しみいただいた。お客様のリクエストがあったお題を即興で作るパフォーマンスも今回の見どころとなった。
	10	無名塾公演2018「野鴨」	3月3日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席指定 一般 2,000円 高校生以下 1,000円	233人	「新潟県」と「新潟県次世代の舞台芸術担い手育成事業実行委員会」とともに主催として実施し、『平成30年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業』として助成を受ける。県内の高校生を対象とした演劇ワークショップを開催。その一環として無名塾による「野鴨」公演及び高校生対象の演劇ワークショップ・「野鴨」鑑賞体験も合わせて実施した。野鴨公演は一般にもチケットを販売。本公演後、出演者によるアフタートークも開催した。
創造事業	1	新版「二日月」	8月25日 (土曜) 26日 (日曜)	新潟市北区文化会館	一般 1,000円 小・中学生 500円	649人	「新潟県」と「舞台芸術への県民参加推進プロジェクト実行委員会」とともに主催として実施し、『平成30年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業』として助成を受ける。昨年度に上演した「二日月」を新しい演出とステージングで「新版二日月」として再演した。演出は台本作成の笹部博司さん、ステージングはダンスワークショップなどを手掛ける青木直哉さんと当館利用者がバレエ教室を主宰している荒井香さんに携わっていただき、昨年度と同様に市民からの応募でオーディションを行い配役を決定。5月より本格的に始動し、約4か月間の稽古を経て上演に至った。
	2	劇団「北極星」	通年	新潟市北区文化会館	無料	45	昨年度「二日月」の上演に出演した市民の多くより、このまま解散するのはもったいないとの声が上がっており、市民が自主的に活動を行うための演劇集団として劇団「北極星」を立ち上げた。
	3	北区ジュニア吹奏楽団 第4回定期演奏会	9月24日 (祝日)	新潟市北区文化会館	全席無料 無料	230人	定期演奏会は受験生の負担を考慮して、今年度から秋の開催とした。スプリングコンサートから5か月という短い準備期間だったが、受験を控えた団員も欠席することなく全員がステージに立つことができた。練習が大変だった分団員からも充実感のある感想が聞かれ、有意義な演奏会となった。
	4	第6回北区うたの祭典	12月23日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 一般 1,500円 高校生以下 800円	379人	文化庁芸術文化振興基金(地域の文化振興の活動)の助成を受けての事業。今公演のために公募市民で結成したうたの祭典合唱団と、北区少年少女合唱団をはじめ、ゲストとして北区在住の五十嵐尚子さんにご出演いただいた。今回のテーマは「自然～Music & Nature～」とし、自然にまつわる作品を取り上げた。
	5	創作劇「白百合の湖」	2月10日(土曜) ～ 3月3日(日曜) の内6日間	新潟市北区文化会館	参加無料	8人	「新潟県」と「新潟県次世代の舞台芸術担い手育成事業実行委員会」とともに主催として実施し、『平成30年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業』として助成を受ける。県内の高校生を対象とした演劇ワークショップを開催。公募で集まった8名がプロ演出家指導のもと、高校生脚本「白百合の湖」を題材に、3日間の短期講習後、ホールにて成果発表を行った。
	6	第2回北区少年少女合唱団 定期演奏会	3月17日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席無料 無料	210人	毎年この時期に開催の定期演奏会、うたの祭典出演者・JCF出演者への案内及び主催公演への折り込みを行い、関係者と地域住民への周知を狙った。団員も積極的に学校への案内を行ってくれたおかげで、当日は親子の来場も多く見られた。
1	アウトリーチ 尺八と箏	5月23日(水曜)	デイサービスセンター松浜	入所者・職員 参加費 100円	30人	施設利用者の多くは手足を動かすことができる方で、演奏にあわせて手を叩いたりカステネットや鈴などを鳴らす体験を積極的に参加する様子が見られた。尺八や箏など、なかなか聞けて聴くことのできない演奏を集中して聞いている姿が印象的であった。	
		5月24日(木曜)	市立早通南小学校	児童・職員・ 保護者 参加費 100円	120人	当小学校は、毎年当事業に応募してくださっており、音楽の鑑賞事業の一環としてご参加いただいている。今年は5年生を対象に開催。出演者持込みの楽器と学校の楽器を準備し、生徒全員1つは楽器を持ち、全員で砂山を演奏。また、学校で歌っているという「365日の紙飛行機」をサブライズで演奏し、皆に歌っていただいた。	
		5月24日(木曜)	デイサービスセンターまつはま園	入所者・職員 参加費 100円	60人	今年初めて応募いただいた施設で、初開催となった。ベッドのままや酸素ボンベを着用して参加してくださった方もおり、職員の皆さんが利用者さんにつき、鑑賞のサポートをしていただいた。自立した方も多かったので、歌ったり拍手をしたりと賑やかなコンサートとなった。	
	ワンコインご縁コンサート 尺八と箏	6月19日 (火曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 495円	47人	出演者の意向で和楽器を身近に感じられ堅苦しくないコンサートとなるように照明を派手にしたり、ノリの良い雰囲気になるよう演出した。プログラムは昔から伝わる伝統曲もしっかり押さえつつ、J-POPを和楽器風にアレンジしたもの、オリジナル曲などバラエティ豊かにお届けした。	
	2	アウトリーチ チェロとピアノ	5月29日(火曜)	有料老人ホーム くるみの社	入所者・職員 参加費 100円	38人	毎年ご応募いただいている会場で、ご利用の方とそのご家族など多くの方々にご参加いただいた。四季にまつわる「春の小川」や「夏は来ぬ」、「ふるさと」など馴染みの曲を演奏していただき、演奏に合わせて歌を歌ったり、拍手をしたり、活発に参加していただくことができた。
5月30日(水曜)			松浜こども園	園児・職員・ 保護者 参加費 100円	100人	毎年参加応募をいただいております。様々なアーティストの演奏を聴いていただいている。当園にあるピアノが壁固定で動かすことが出来ず会館の電子ピアノを運びこんでの使用となった。初めて見る楽器に興味津々の様子で、子どもたちも身を乗り出して聴いていた。楽器についてのクイズコーナーもあり楽しんでいる姿が見られた。出演者が小さなヴァイオリンを用意し、子どもたちにひとりずつ弾いてもらう体験も良い、音楽や楽器に触れる貴重な時間となった。	

平成30年度 新潟市北区文化会館 指定管理文化事業報告書

普及育成事業		5月30日(水曜)	老人保健施設 松浜さくら園	入所者・職員 参加費 100円	70人	病院と併設している施設で、今回初開催となった。会場が広く、職員の方々のご協力でスムーズに準備を行うことができた。施設で普段歌われている曲目を演奏し、職員のお手製歌詞カードを見ながら一緒に歌うなど利用者の方にも参加していただいた。
	ワンコインご縁コンサート チェロとピアノ	6月20日 (水曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 495円	71人	ワンコインご縁コンサートを19日に「尺八と箏」、翌20日に「チェロとピアノ」公演として二日間連続開催した。本番はお二人の軽快で親しみを感じさせるトークもありつつ、「愛」をテーマにクラシックから有名洋楽まで幅広いレパートリーの曲達を披露していただいた。
	アウトリーチ ヴァイオリンとマリンバ	9月19日(水曜)	木崎コミュニティセンター	地域住民 参加費 100円	54人	普段からコミュニティセンターをご利用している方々に多くご来場いただいた。間近で演奏を聴き、終演後も楽器を興味津々の様子で眺めている方もおられた。秋の季節にちなんで童謡の「小さい秋見つけた」や、お客様は高齢の方が多かったため、時代劇メドレーなど馴染みのある曲目を演奏していただいた。
		9月20日(木曜)	つくし子ども園	園児・職員・ 保護者 参加費 100円	196人	当園とは初応募・初開催となった。「敬老の日」にあわせた園児の祖父母を招いての園主催発表会「敬老会」の一環としてアウトリーチを行った。子どもたち向けの「アンパンマンマーチ」や「ドレミの歌」や珍しい楽器(タイプライターやホイッスルなど)を使用し、子供が見ても聴いても楽しい曲達を中心に演奏していただいた。
		9月20日(木曜)	市立南浜小学校	児童・職員・ 保護者 参加費 100円	63人	3～6年生を対象として開催。音楽室を会場とし、本格的なクラシック音楽から馴染みのあるポップスなどの曲をお聴きいただいた。珍しい楽器や小道具を使って視覚的にも楽しめるプログラムに、子どもたちの興味深々な様子が見受けられた。
ワンコインご縁コンサート ヴァイオリンとマリンバ	10月16日 (火曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 495円	115人	市内出身のお二人は、地域住民の認知度も高く、ファンも多い。マリンバやティンパニを曲によって使い分け、テンポの良い曲や、神秘的な曲、不気味さを感じる曲など、様々な曲調のプログラムでお客様を魅了した。	
4 劇団北極星 子どもシアターワークショップ	10月2日(火) ～12月3日 (月)の5日間	新潟市北区文化会館	無料	65人	劇団「北極星」の単発的なワークショップとして劇団の子どもたちによるシアターワークショップを行う。子どもたちが自主的に演出や芝居の稽古を行い、その成果を保護者や大人の劇団員に発表した。積極的に芝居に向き合う子どもたちの様子が見受けられた。	
5 水と土の芸術祭 子どもWS	9月1日 (土曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 無料	107人	水と土の芸術祭2018の一環として新潟市文化創造推進課との共同開催となった。参加した小学生達は、7/21の午前中に福島湯を散策し自然を体感。その後当館にて午前中の体験に基づき、楽器での即興演奏、歌作りを行った。このワークショップで生まれた6つのアイディアは、講師の野村さんにより再構築され、9/1のコンサートの際「新潟組曲 水と土のこどもたち」として発表された。当日は、ピアノ野村さんとアコーディオン太田さんのデュオコンサートもあり、一般のお客様のご来場もあった。	
交流発信事業	1 Nor t her nMusi cFest i val 2018	9月30日(日曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 無料	304人	新潟市北区自治協議会提案事業。新潟市や青年会議所で構成された実行委員会との共同主催となった。前年まで野外イベントとして行われていたが、今年は当館ホールを中心に、屋外に特設ステージや飲食ブースを設置し家族連れなど多くの方にご参加いただけるような企画を企てた。しかし、開催直前で台風直撃の恐れがあり、市と実行委員長と当館で何度も協議し、屋外での開催を全て中止、館内での開催とし決行。それに伴い、急遽館内ロビーにミニステージを設置するなど屋内で可能な限り開催した。台風の中2000人を超えるお客様にご来場いただいた。
	2 北区音楽祭2018	11月11日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 無料	2,300人 出演者も含む	北区音楽文化の祭典の第一弾事業。「新潟県」と「舞台芸術への県民参加推進プロジェクト実行委員会」とともに主催として実施し、『平成30年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業』として助成を受ける。北区内で活動中の音楽やダンスの団体が、日頃の練習の成果を発表した。ゲストも招聘し、サクソとピアノの演奏を披露していただいた。ダンス、合唱、楽器演奏に加え、プロの演奏もあり、盛りだくさんなプログラムとなった。
	3 第8回北区フィルハーモニー管弦 楽団 ファミリーコンサート	11月18日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 1,000円	477人	北区音楽文化の祭典の第二弾事業。「新潟県」と「舞台芸術への県民参加推進プロジェクト実行委員会」とともに主催として実施し、『平成30年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業』として助成を受ける。2年ぶりの指揮となる長谷川正規さん、ゲストコンサートマスターとして加藤礼子さんをお招きし、今年は「愛」をテーマにした曲をお届けした。音楽に合わせ、スクリーンに画像投影やバレエの踊り子登場など見ても聴いても楽しいコンサートとなった。
	4 「北区郷土博物館 開館50周年 記念 郷土芸能発表会」	11月25日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 無料	685人 出演者も含む	北区音楽文化の祭典の第三弾事業。「新潟県」と「舞台芸術への県民参加推進プロジェクト実行委員会」とともに主催として実施し、『平成30年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業』として助成を受ける。北区郷土博物館との初共催事業。北区内に現存する神楽などの保存団体が舞などを披露した。当日は本番前にエントランスロビーにて神楽のお頭を一堂に展示。お頭に頭を噛んでもらい厄払いしている方で大賑わいとなった。同時に横笛体験会も開催。子どもからお年寄りまで様々な方が参加し、お祭り気分を味わっていた。普段一度にこんなに多くの獅子舞や、舞、太鼓の演奏等を見る機会もないため、お客様からも満足のお言葉を頂戴した。
	5 第7回「みんなで作る楽しい文 化・スポーツ発表会」	2月3日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 無料	930人 出演者も含む	NPO法人ハピスカとよさか(豊栄総合体育館)との共同主催事業。チャリティーイベントのため、入場無料だが当日ロビーに募金箱を設置し、来場者から募金を募った。北区内で活動しているダンスや演武の団体が、日頃の練習の成果を発表した。当日が節分だったため、ホールでの公演終了後には、小学生以下の子供達を対象にお菓子まきを開催。参加希望の子が多く、4回に分けて開催するほど大盛況で幕を閉じた。
	6 にいがたジュニアコーラスフェス ティバル	2月10日 (日曜)	聖籠町文化会館	全席自由 500円	25人	前年度、当館で開催した同事業が、りゅーとびあ、当館、聖籠町文化会館の三館による持ち回り事業となり、本年度は聖籠町文化会館での開催となった。新潟市とその近郊で日ごろ活動している、6団体が日頃の練習の成果を発表した。
	7 私もピアニスト&アーティスト	通年(24回)	新潟市北区文化会館	300円	181人	貸切のホールでフルコンサートピアノを自由に弾いてもらい、ステージの広さや、ホールならではの音響の良さを体験していただいた。本年度より様々な改良を行った。まず、「ピアノ+声楽+楽器コース」を開設し、ピアノ以外の練習にもご利用いただけるようにした。その分開催日も16日から24日に増やし、利用回数も1人3回だったものを4回まで利用可能に改善。また、サービス向上に伴う価格の見直し、増加していた無断キャンセル防止のため、無料だった参加費を1回300円と有料化した。開催枠はほぼいっぱいになり、大人気事業となっている。
	8 北区少年少女合唱団	通年	新潟市北区文化会館	1人月 300円	918人	概ね25名ほどの団員数で推移した。高学年チームの人数が多く、年間を通して安定した演奏ができていたように感じた。団員から「音楽の授業で自信をもって歌えた」とか「近所の人から演奏を褒めてもらった」との声があり、少しずつ合唱の輪が広がっているように思う。また9月NMFでのロビーコンサートでは、間近に聞いていただいたお客様から直接「上手だね」と声をかけてもらって、団員もとても嬉しそうに、またさらに自信がついたようだった。
	9 北区ジュニア吹奏楽団	通年	新潟市北区文化会館	1人月 500円	716人	団員は1年を通して30名弱で推移した。新入団員は募集案内やホームページをみての人でしたが、団員が声をかけた友達や部活の仲間も多く入ってくれた。今年度から秋の定期演奏会に加えて春にスプリングコンサートを開催し、団員の意識と技術の向上を図り、また楽団の演奏会以外では初めてとなる北区音楽祭へ出演し、地域の皆さんにも楽団の存在をアピールした。各公演のアンケートからも技術の向上や内容自体をお褒めいただく声が増えてきた。観客動員も少しずつ伸びてきており、来場いただいたお客様をはじめ地域の皆さんにも楽団が少しずつ認知されてきているので、今後はさらに広く知ってもらって広報活動を行っていききたい。また、昨年度に引き続きオーボエ、クラリネット、ホルン、各種打楽器等を購入し、楽器整備を行うことで団員の演奏しやすい環境づくりを図った。
	10 センターコモンを活用 まちごと美術館	8月21日(火曜) ～ 26日(日曜)	新潟市北区文化会館	無料	1,691人	障がいをお持ちでありながら、芸術創作活動に親しんでいる方がいるが、その作品に触れたり、鑑賞したりできる発表の場はまだまだ限られている。障がいをもつ生まれた子どもとそれを受け入れ家族として成長してゆく姿を描く「二日月」公演に合わせて、新潟市内外で創作活動に取り組んでいる障がい者の絵画43点を館内に展示した。